

平成 30 年度

いわき民報ふるさと出版文化賞 受賞作品

令和元年 5 月発行

〇いわき民報ふるさと出版文化賞とは〇

いわき民報社主催。平成 18 年、いわき民報の創立 60 周年を記念して創設された。小説・詩・短歌・俳句・川柳などの文芸、調査・研究報告・記念誌などの記録、伝記・随筆・その他を対象に、市内在住者または市内に通勤・通学している人の出版物を顕彰し、いわきの文化の発展に寄与することを目的に実施している。

平成 30 年度 第 12 回

【いわき民報掲載日：平成 31 年 3 月 4 日】

	受賞作品	内 容	分 類
最優秀賞	該当作品なし		
優秀賞	『古文書が語る磐城の戊辰史』 (いわき歴史文化研究会 // 編著)	磐城平藩・泉藩・湯長谷藩や幕府領小名浜代官所の関係者が書いた日記や見聞録等の史料が、注釈や解題とともにまとめられている。	地域 210.6-1 1
特別賞	『宙(そら)から桜が見えますか』 (いわき万本桜プロジェクト // 企画・制作)	東日本大震災で被災したいわきを、桜を植えて元気づけたいとの思いから始まった、「いわき万本桜プロジェクト」の活動が蔡国強との関わりと共に紹介されている。	地域 702カ
特別賞	『小浜町、岩間町の 昔、今を未来に』 (小浜・岩間地区復興対策協議会 // 編)	小浜町・岩間町の歴史や文化、生活について、図や写真を使って、わかりやすく描かれている。また、東日本大震災後の生活の変化についても言及されている。	地域 210.1-1 1